

第11回日本ジオパーク全国大会島根半島・宍道湖中海大会プログラム

※今後の新型コロナウイルス感染症の状況等により、オンラインを活用した手法への変更やプログラムの見直しを検討する場合があります。

1. **大会名称** 第11回日本ジオパーク全国大会島根半島・宍道湖中海大会

2. **目的**

第11回日本ジオパーク全国大会島根半島・宍道湖中海大会は、ジオパーク事業の取り組みを多くの方々に知っていただくとともに、各ジオパークの情報交換や意見交換などを行い、ジオパークの一層の発展・向上につなげることを目的として開催します。

3. **テーマ** 今、なぜジオパーク？

4. **サブテーマ** 国引きの地から持続可能な地域づくりを考える

5. **会期** 令和3年10月3日（日）～5日（火）

6. **会場** くにびきメッセ（松江市）
ビッグハート出雲（出雲市）

7. **主催** 第11回日本ジオパーク全国大会島根半島・宍道湖中海大会実行委員会
一般財団法人自治総合センター

8. **共催** 日本ジオパークネットワーク
日本ジオパーク委員会
日本ジオパークネットワーク中四国近畿ブロック

9. **後援** 総務省
島根県
その他、環境省、国土交通省、マスコミ等を予定

10. **参加者** 1,000名程度

11. プログラム

○大会開会前

プレジオツアー

	ツアー名	実施日	担当	備考
1	大陸分裂の島根半島縦断ツアー ～日本海の幸がモリモリ～	10/2, 3	島根半島・宍道湖中海（国引き）ジオパーク推進協議会	資料A (P5)
2	悠久の大地で潮波み体験 ～島根半島四十二浦めぐり（出雲編）～	10/2, 3		
3	宍道湖・中海の生き物と歴史文化ツアー ～ラムサール条約湿地を味わい尽くす旅～	10/2, 3		
4	大地の偉大な造形巡り ～人々を魅了する巨樹・巨岩・大地～	10/2, 3		
5	日本海堪能・海ごみ問題を考える 【保護保全分科会と連動予定】	10/2, 3	山陰海岸ジオパーク推進協議会	

○10月3日（日）

時間	プログラム	会場	備考
13:00～15:45	講演、パネルディスカッション	ビッグハート出雲	資料B (P6)
10:00～17:00	ブロックパビリオン、展示ブース		
終日	JGN関係会議	くにびきメッセ	
夜	市町村長懇親会、事務局長等懇親会	松江市内	

○10月4日(月)

時間	プログラム	会場	備考
9:00～10:00	開会式	くにびきメッセ	資料B (P6)
10:05～10:45	特別講演		
10:55～11:35	基調講演		
11:35～12:05	基調提起		
12:15～12:45	出雲神楽上演(休憩時)		
13:00～15:00	市町村長セッション【内容、開催日時未確定】		※調整中、3日午後に変更の可能性あり
13:00～17:30	ガイド講習会(有料)		資料B (P7)
14:00～15:00	ワークショップ		
15:00～17:30	口頭発表を中心とする分科会		
9:00～17:30	ポスターセッション、展示ブース、地元物産展		
13:00～13:50	ポスターセッションコアタイム		資料B (P8)
18:30～20:30	大交流会		

○10月5日(火)

時間	プログラム	会場	備考
9:00～12:00	ガイド講習会(有料)	くにびきメッセ	資料B (P9)
9:30～12:00 ※一部 9:00～12:00	口頭発表を中心とする分科会		
13:00～14:30	パネルディスカッション		資料B (P10)
14:30～15:00	閉会式		
9:00～16:00	ポスターセッション、展示ブース、地元物産展		資料B (P8)

○大会閉会后

ポストジオツアー

	ツアー名	実施日	担当	備考
1	大地の偉大な造形巡り ～人々を魅了する巨樹・巨岩・大地～	10/5, 6	島根半島・宍道湖中海(国引き)ジオパーク推進協議会	資料C (P11, 12)
2	悠久の大地で潮汲み体験 ～島根半島四十二浦めぐり(松江編)～	10/5, 6		
3	河の力で変わる大地と歴史 ～自然に向き合う人々の智慧～	10/5, 6		
4	溶岩を読む・楽しむ・動かす! ～陸上火山と海底火山～	10/5, 6		
5	大地と人をつなぐ隠岐の島町満喫ジオツアー	10/6, 7	隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会	
6	大地から紐解く神社めぐりツアーin西ノ島	10/6, 7		
7	日本海拡大前の大陸の時代の岩とそこから流れ出す砂が作った砂丘を堪能 【ユニバーサルデザイン分科会と連動予定】	10/5, 6	山陰海岸ジオパーク推進協議会	
8	ジオパークにおけるビジネスモデル	10/6, 7		

プレジオツアー（5本）

<p>1 大陸分裂の島根半島縦断ツアー～日本海の幸がモリモリ～</p>	<p>2 悠久の大地で潮汲み体験～島根半島四十二浦めぐり（出雲編）～</p>
   	   
<p>3 宍道湖・中海の生き物と歴史文化ツアー～ラムサール条約湿地を味わい尽くす旅～</p>	<p>4 大地の偉大な造形巡り～人々を魅了する巨樹・巨岩・大地～</p>
    	    
<p>5 日本海堪能・海ごみ問題を考える【保護保全分科会と連動予定】</p>   	

10月3日(日)

○出雲会場(ビッグハート出雲)

時間	プログラム	内容	会場
13:00～ 15:45	市民公開講座 (講演、パネル ディスカッション)	①講演「世界の巨石～人と関わる大地・文化・ 観光・ジオサイトの魅力」 講師：写真家、巨石ハンター 須田郡司さん 講師がこれまで訪ね歩いた世界と日本の中から 印象的な巨石を選定し、その岩質をはじめ人と関 わる大地(自然)・文化(神話・信仰)・観光・ジ オサイトなどの魅力を紹介する。 また、巨石の写真による巨石巡りの擬似体験を 通じ、ジオ多様性としての「地球の記憶」を楽し めるようにする。 ②パネルディスカッション「出雲地域の大地・ 文化と巨石の関わり」 ファシリテーター：河野美知 神社ガールズ研究会会長 パネラー：服部昌幸 出雲市佐香コミュニティセンター長 平野芳英 荒神谷博物館学芸顧問 川島桜 出雲アーシング事務局	白のホール
10:00～ 17:00	JGN6ブロッ ク別パビリオン	ジオパークのおもしろさや、大地とグルメ、 歴史、文化などとのつながりを情報発信する ブース出展等。	黒のホール 茶のホール アートギャラリー レセプションスペース 文化サロン
10:00～ 17:00	ジオパーク展示	①ジオパークの基本的紹介 ②ドローン映像放映	通路等
10:00～ 17:00	物産展・飲食ブ ース	①全国のジオパーク商品カタログ販売 ②島根半島・宍道湖中海ジオパーク認定ジオ ブランド商品販売	通路等
10:00～ 17:00	スタンプラリー	各催し会場でスタンプを集め、抽選で記念品 贈呈。	各催し会場

10月4日(月)

○松江会場(くにびきメッセ)

時間	プログラム	内容	会場
9:00～ 10:00	開会式	1 主催者・共催者あいさつ ①第11回日本ジオパーク全国大会島根半島・宍道湖中海大 会実行委員会実行委員長 ②日本ジオパークネットワーク理事長 ③日本ジオパーク委員会委員長 2 来賓紹介・あいさつ 等	大展示場 2/3
10:05～ 10:45	特別講演	ラフカディオ・ハーン 講演「小泉八雲、「ジオ」へのまなざし」 講師：小泉凡 小泉八雲記念館長(島根県立大名誉教 授)	大展示場 2/3
10:55～ 11:35	基調講演	講演「海面変動と地質に関する研究(仮)」 講師：斎藤文紀 島大エスチュアリー研究センター長 (JGC委員)	大展示場 2/3
11:35～ 12:05	基調提起	講師：米田徹 日本ジオパークネットワーク理事長 これまでの10年を簡潔に振り返るとともに、そこに流れ ていたジオパークへの熱き想いを語っていただく。	大展示場 2/3

10月4日(月)

○松江会場(くにびきメッセ)

時間	プログラム	内容	会場
13:00～ 17:30	ガイド講習会(有料)	<p>インタープリテーションによるガイドを体験し、知識に頼らないガイドができるようになることを目指して、2日間にわたりワークショップや実技を行う。</p> <p>1日目は、3時間程度で体験と振り返りを行う。インタープリテーション型の体験をしてもらう。</p> <p>【担当】萩ジオパーク推進協議会 【講師】(一社)をかしや 菊間 彰氏</p>	401 会議室
14:00～ 15:00	ワークショップ	<p>参加者が各分科会会場に分かれ、「今、なぜジオパーク?」なのか、これから10年の考え方や手法などについて参加者同士が議論する</p>	多目的ホール 小ホール 国際会議場 501 会議室
15:00～ 17:30	<p>口頭発表を中心とする分科会 (①保全・保護、②担い手育成、③社会貢献、④ネットワークの意義・活用、⑤地域振興の5つのテーマで分科会を開催し、分科会内容に即した口頭発表も募集する)</p>	<p>①保全・保護 【どのようにすれば海ゴミ問題を解決できるか(仮)】 海ゴミ問題に取り組むジオパーク関係者に、現状の課題や解決への取り組み事例などを紹介してもらい、各関係者および参加者の意見交換や議論から今後の海ゴミ問題への取り組みについて考える。 【担当】山陰海岸ジオパーク推進協議会 【ファシリテーター】兵庫県立大学大学院 地域資源マネジメント研究科 川村 教一教授</p> <p>②担い手育成(学校教育) 【ジオパークで目指したい教育ってなに?(仮)】 ジオパークは学校教育でどのように貢献することができるのか、ジオパークを活用することで何を指すことができるのかを議論する。 【担当】室戸ジオパーク推進協議会 【ファシリテーター】室戸ジオパーク推進協議会事務局</p> <p>③社会貢献(防災) 【ジオパークだからこそできる防災・減災活動(仮)】 災害を“自分ごと”として考えられる取り組みを模索する。タスクチームを創設して、全国大会後も分科会での意見等を踏まえながら活動を継続し、最終的な防災・減災活動方針等を取りまとめる。 【担当】四国西予ジオパーク推進協議会 【ファシリテーター】東北学院大学 目代邦康准教授</p> <p>④ネットワークの意義・活用(地域内のネットワークづくり) 【パートナーシップで何ができるのか?(仮)】 ジオパーク協議会はトップダウンではなく、地域組織や住民と連携しながらボトムアップで取り組んでいく必要がある。そういった連携の事例発表をして、情報共有し、ジオパーク全体のレベルアップに繋げていく。 【担当】隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会 【ファシリテーター】隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会事務局</p>	多目的ホール 小ホール 国際会議場 501 会議室 601 会議室

10月4日(月)

○松江会場(くにびきメッセ)

時間	プログラム	内容	会場	
9:00～ 17:30	展示ブース	JGN 正会員及び準会員地域、JGN 協賛会員、大学、研究機関等に対して、展示スペースを提供し、PR の場として活用していただく。	大展示場 2/3	
9:00～ 17:30	ポスターセッション	ジオパークに関するさまざまな活動事例、研究成果、問題点やそれに対する取り組みなど、幅広い観点からの事例発表を募集します。活動事例については、口頭発表を中心とする分科会のテーマに合わせて募集します。	大展示場 2/3	
		1 活動事例 (保全・保護)		ジオサイト等における保全・保護活動、海ごみ問題に対する取り組み、湿地での保全活動 等
		2 活動事例 (担い手育成)		学校、地域等における教育、地域住民との協働、ガイド養成 等
		3 活動事例 (社会貢献)		防災やユニバーサルデザイン等の取り組み、with/afterコロナ時代のジオパークの取り組み 等
		4 活動事例 (ネットワークの意義・活用)		ジオパーク地域内のネットワーク活動、日本国内または世界のジオパークとのネットワーク活動、企業とジオパークの連携 等
		5 活動事例 (地域振興)		ジオツーリズム、ガイド活動、ジオブランド商品の取り組み、マーケティング戦略 等
		6 最近の学術研究成果 (ジオ、エコ、ヒト、融合研究)		各ジオパークで最近行われた学術研究成果や、各ジオパーク学術研究助成金等利用者による研究成果を発表します。
		7 ジオパークにある神話・伝説をジオ言葉で語ってみよう		地質や地形の学術は人々の生活の中で芽生えてきたもので、その原点は神話や伝説と同じところにあったと考えられています。神話や伝説の多い島根半島・宍道湖中海ジオパークでの開催を機会に、全国のジオパークで語られてきた神話・伝説を持ち寄り、古代から続く人々の地域の自然観を再発見してみませんか。
		8 その他		文化、自然、生態系、食に関する取り組み、VRやSNSを活用した取り組み 等
13:00～ 13:50	ポスターセッションコアタイム	原則として発表者がポスターの前に立ち、説明していただく。	大展示場 2/3	
9:00～ 17:30	物産展	①全国のジオパーク特産品販売 ②国引きジオブランド商品、地元特産品コーナー ③しじみ汁販売コーナー ④参加者弁当受け渡しコーナー	大展示場 2/3	
18:30～ 20:30	大交流会	開催にあたってはオードブルではなく個別に料理を提供するなど、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底の上、開催します。今後の新型コロナウイルス感染症の状況により、実行委員会主催の従来型の大交流会は取り止め、その代わりに松江市内の飲食店でコロナ対策を実施している店舗を掲載したガイドマップを作成の上、参加者に配布し、各自懇親してもらうことを検討します。併せて各飲食店にガイドマップを提示することで、割引や飲食物のサービスを受けられるようにする手法も検討します。	大展示場 1/3	

10月5日(火)

○松江会場(くにびきメッセ)

時間	プログラム	内容	会場
9:00～12:00	ガイド講習会(有料)	2日目は今回の講習が他のガイド講習と何が違うのかを考えるワークショップを行う。	401 会議室
9:30～12:00	口頭発表を中心とする分科会 (①保全・保護、②担い手育成、③社会貢献、④ネットワークの意義・活用、⑤地域振興の5つのテーマで分科会を開催し、分科会内容に即した口頭発表も募集する)	①保全・保護 【ジオパークでの湿地の価値の評価と保全の実際(仮)】 湿地の多面的な価値の評価方法を共有し、ジオパークプログラムにおける湿地での保全活動、持続可能なツーリズム、教育活動とは何かについて考える。 【担当】 JGN 運営会議保全ワーキンググループ 【ファシリテーター】 広島大学 浅野敏久教授	多目的ホール 小ホール 国際会議場 501 会議室 601 会議室
9:00～12:00		②担い手育成(地域住民) 【地域住民との協働(仮)】 どのようにステークホルダーとして地元企業を巻き込んでいくか、地元が潤うシステム作りを地域住民と一緒にどのように考えるかなどの議論を促し、持続可能な地域経済活動とは何かについて考える。 【担当】 南紀熊野ジオパーク推進協議会 【ファシリテーター】 山陰海岸 GP ガイド 今井ひろこ氏 和歌山大学観光学部 出口竜也教授 和歌山大学教育学部 此松昌彦教授	
9:30～12:00		③社会貢献(ユニバーサルデザイン) 【大自然の驚異に立ち向かう人類～多様なリスク評価ネットワーク～(仮)】 covid-19などの感染症や地球温暖化、自然災害など大小様々な脅威に対して、地域と人の多様性とこれをつなぐネットワーク活動を生かしたリスク回避と克服の可能性と人類の地球での持続可能な生活を、ユニバーサルデザインの観点から議論する。 【担当】 JGN 運営会議ユニバーサルデザイン(UD)ワーキンググループ 【ファシリテーター】 松原典孝(山陰海岸ジオパーク推進協議会)他 UDワーキンググループ	
		④ネットワークの意義・活用(ジオパーク同士のネットワークづくり) 【パートナーシップで何ができるのか?(仮)】 日本国内だけでなく、世界のジオパーク間のネットワークについても取り上げる。さらに、企業とジオパークとの連携についても事例発表と情報共有を行い、ジオパーク全体のレベルアップに繋げていく。 【担当】 隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会 【ファシリテーター】 隠岐ユネスコ世界ジオパーク推進協議会事務局 他	
		⑤地域振興(ツーリズム) 【ジオツーリズムと地域振興】 ジオツーリズムは、特に地質や景観に焦点をあてた自然エリアに訪れ、ツアー参加者の資源の保全への志向性を高める事業である。それはジオサイト(見学場所)への旅行、ジオ多様性の保全、鑑賞と学習を通じた地球科学への理解を促進させる。 しかし、ジオパークでは、ジオサイトを守ることで地域を発展させる仕組みがきちんと構築されているのか? この分科会では、資源保護と地域経済の成長を両立させ持続的な地域の経済的発展を促進する仕組みや課題について議論する。 【担当】 Mine 秋吉台ジオパーク推進協議会 【ファシリテーター】 株式会社ジオ・ラボ 栗原憲一代表取締役社長	

10月5日(火)

○松江会場(くにびきメッセ)

時間	プログラム	内容	会場
13:00～ 14:30	パネルディスカッション	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭発表を中心とする分科会の各ファシリテーターから分科会内容について報告する。 ・パネルディスカッションファシリテーターと分科会ファシリテーターによるディスカッション及び会場参加者とのディスカッションを行う。 ・これから10年のジオパーク活動について議論を深め、大会テーマ「今、なぜジオパーク？」の答えをまとめる。 <p>【ファシリテーター】NPO法人桜島ミュージアム 福島大輔理事長(桜島・錦江湾ジオパーク)</p>	大展示場 2/3
14:30～ 15:00	閉会式	<ol style="list-style-type: none"> 1 大会宣言 第11回日本ジオパーク全国大会島根半島・宍道湖中海大会実行委員会実行委員長 2 次回開催地あいさつ 白山手取川ジオパーク推進協議会 3 閉会のことば 第11回日本ジオパーク全国大会島根半島・宍道湖中海大会実行委員会副実行委員長(出雲市長) 	大展示場 2/3

ポストジオツアー（8本）

<p>1 大地の偉大な造形巡り ～人々を魅了する巨樹・巨岩・大地～</p> 	<p>2 悠久の大地で潮汲み体験 ～島根半島四十二浦めぐり（松江編）～</p> 
<p>3 河の力で変わる大地と歴史 ～自然に向き合う人々の智慧～</p> 	<p>4 溶岩を読む・楽しむ・動かす！ ～陸上火山と海底火山～</p> 

5	大地と人をつなぐ隠岐の島町満喫ジオツアー	6	大地から紐解く神社めぐりツアーin 西ノ島
			
7	日本海拡大前の大陸の時代の岩とそこから流れ出す砂が作った砂丘を堪能【ユニバーサルデザイン分科会と連動予定】	8	ジオパークにおけるビジネスモデル
  		  	